



SUCCESS STORY 株式会社ウイル・コーポレーション

SONORA ランニングコストを大幅削減

業務改善の目玉としてコダックの完全無処理 CTP プレート SONORA を導入。
月平均 6,000 版を出力する関東第一／第二工場で、年間約 200 万円の
ランニングコスト削減に成功。

インライン特殊加工で独創的な紙製品を提案

石川県に本社を置く株式会社ウイル・コーポレーションは、全国に5つの生産拠点と9つの営業拠点を擁し、情報・印刷事業を幅広く展開している。13台のオフセット輪転機を中心とした圧倒的な生産能力を誇り、カタログ、チラシ、フリーペーパー、DMなど極大ロットの仕事にも短納期で対応している。同社の強みは輪転印刷から折り、抜き／糊付けまで、すべてをインラインで処理する独自の特殊加工設備にある。一般的な圧着チラシから、紙面の一部がめくれたり、開封すると立ち上がる立体的な「仕掛け」が魅力的なDMやリーフレット、はがして貼るだけで簡単につくれる子ども向けのペーパークラフトなど、同社にしかつけない独創的な紙製品が高い評判を得ている。高いクリエイティブ力で独自の特許製品も数多い。さらにハイエンドデジタル印刷機（枚葉・輪転）の導入も進め、小ロット・多品種化への対応とさらなる付加価値

「初めての印刷テストで何の違和感なく印刷でき、耐刷性も上質紙167,000刷を余裕でクリアしました」

向上を図り、オンデマンド書籍や可変カタログ、可変DMなどの受注も目指している。

SONORA 導入は業務改善活動の目玉

同社がコダックの完全無処理 CTP プレート KODAK SONORA に注目したのは2017年夏のこと。製造本部 業務改善推進室 副室長の水野三喜男氏は、無処理版のコスト削減効果に驚いたと次のように話している。



製造本部 業務改善推進室 副室長 水野 三喜男氏



デジタルプリプレス部
プリフライト課 関東刷版グループ 係長 篠原 重信氏



製造本部 関東第一工場 印刷課 総機長 立田 哲也氏





CTP1 台で月平均 6,000 版を出力



オフ輪 3 台を擁する関東第一工場



紙のおもちゃが販促ツールとして人気

「SONORA を導入するメリットとデメリットを徹底的に洗い出したのですが、こんなにいい話はない、やらないという選択肢はないと感じました。特に薬品購入や機械の保守費用、廃液の処理費用、電気水道代などランニングコストの削減効果が大きいですね。ひとつひとつの仕事で 1 秒・1 円のミリ・ムダ・ムラをなくすることも大事ですが、SONORA は当社の業務改善活動の目玉になると確信し、期が変わる 11 月からの本格導入を目指しました」

石川県白山市にある同社の北國工場で行われた初めての印刷テストにおいて、SONORA は水野副室長の期待通り、その性能を遺憾なく発揮した。上質紙の仕事で本紙 167,000 刷、予備紙を含め 18 万刷を一発で刷りしたのである。「コート紙であればもっと刷れる」「刷り出しも今までと変わらず、何の違和感なく刷れた」と水野副室長は SONORA に確かな手応えを感じ、導入を決断した。

手間と時間をなくし 刷版工程を省人化

輪転機 5 台を擁する千葉県の関東第一／第二工場では、コート紙の仕事で SONORA の印刷品質を検証。このテストも難なくクリアし予定通り SONORA の正式採用が決まった。関東第一工場では刷版出力業務を担当するデジタルプリプレス部 プリフライト課 係長の篠原重信氏は、SONORA 導入後のメリットを次のように指摘している。

「水の交換やローラー洗浄など、毎週トータルで 2 時間かけていたメンテナンスの手間と時間が一切なくなりました。3 カ月に一度行って

いた大掛かりな母液交換も必要ありません。現像工程がないので出力品質は極めて安定しています。自動現像機によるキズ付きや汚れの心配もありません」

導入当初は、万一のトラブルに備えて、自動現像機を近くに置きオフラインでも対応できるようにしていたが、今はもう刷版室から撤去したそうだ。SONORA のおかげで刷版出力の手間と時間が軽減し省人化にも貢献した。刷版部門のスタッフは 6 名から 3 名に半減し、夜間・休日の勤務はなくなった。24 時間ノンストップの印刷部門には刷版を事前出力しておくことで対応している。万一、夜間・休日に刷版が必要になった場合は、CTP の操作は印刷機のオペレータに任されている。「現像液の状態を気にする必要がないので、経験の少ない技能実習生でもプリンター感覚で簡単に出力できるので安心だ」と印刷課 総機長の立田哲也氏も無処理版のメリットを強調している。さらに印刷現場での SONORA の評価を次のように話している。

「SONORA の使い勝手は以前の有処理版と大きな違いはありません。新しい SONORA CX を使うようになって、耐刷性の心配は一切なくなりました。印刷機の種類や紙質にもよりますが 14 ～ 15 万刷の一般的な仕事をトラブルなく処理できます。有処理版より視認性は落ちますが、その分注意して見るようになったこともあり、つけ間違いなどのトラブルは一切起こっていません」

株式会社ウイル・コーポレーション

代表取締役社長：若林 圭太郎

本社：〒924-0051 石川県白山市福留町 370 番地

TEL.076-277-9811 (代)

関東第一工場：〒289-2247 千葉県香取郡多古町水戸

字水戸台 1-48 TEL.0479-79-3722

<https://www.well-corp.jp/>

写真は関東第一工場



コダック ジャパン

<http://www.kodak.co.jp>

〒140-0002 東京都品川区東品川 4-10-13 TEL.03-6837-7285 (営業代表)

大阪:050-3819-1266 名古屋:050-3819-1265 福岡:050-3819-1270

仙台:050-3819-1255 札幌:050-3819-1250 金沢:076-200-9583

2019-02